

江刺第一中学校

生徒数 511人
所在地 奥州市江刺岩谷堂字小境1番地
☎ 35-1917

江刺第一中学校は、昭和38年、岩谷堂・愛宕・田原第一・稲瀬の4校を統合し、創設されました。昨年度、田原中との統合により、現在の本校の学区の小学校は、岩谷堂小・江刺愛宕小・稲瀬小・田原小・大田代小と一部北上市立照岡小学区の6校です。

学校教育目標は、「切磋琢磨し、誠実に生きる人」です。

図書活動の充実

本校は本年度、子供の読書活動優秀実践校「文部科学大臣賞」を受賞しました。この賞は子どもが積極的に読書活動を行う、特色ある優れた実践を行っている学校に贈られます。中学校の部は、全国で35校が選ばれ、県内では本校のみが受賞しました。読書活動を通して、健全な教養と豊かな心情の育成を目指しています。重点目標は「年間読破目標27冊の設定」「朝読書と読み聞かせ」「各領域の学習に役立つ資料の収集・整備」の3点です。また、定期的な取り組み



読み聞かせでの一場面

みとして、▷新1年生を対象とした「図書館オリエンテーション」の実施 ▷全クラスを対象とした、ボランティアの方々による「朝の読み聞かせ」の実施 ▷先生方のおすすめの本を冊子にして、全校生徒に配付する活動を行っています。

生徒会活動

4月末の生徒総会において、生徒会執行部は、年間大テーマ「『Gloria』～この瞬間をかけがえのない仲間と～」を掲げました。



生徒会活動を通じ、成長の先にある「栄光」に向かい、つかんでいこうという生徒会執行部の思いが込められています。

活動の重点は、「日常生活の向上」と「江刺の街に元気を届ける」です。各委員会の企画活動計画としては、「組団学習マッチ」「CD特集コーナー」「組団対抗清掃クラスマッチ」などがあります。議事終了後は、「日常生活の向上」について各学級で話し合いを行い、発表することで考えを共有しました。生徒会執行部は、メインテーマの下、全校一丸となって楽しめる活動を考えたいと意欲に満ちています。

7月の全校集会では、1学期向上宣言の振り返りについて、各クラスの代表者が発表しました。生徒会長が「改善点を無駄にせず、夏休みと2学期の生活を大事にしていましょう」と全校に呼び掛けました。

学校通信

3年生田植え体験



みんなで田植えに挑戦

級友と声を掛け合いながら、和気あいあいと作業を行いました。生徒が植えた苗がすくすく成長し、良いお米がたくさん収穫できることを願っています。

昨年から技術の授業の一環として、岩谷堂高校と連携し、田植え体験授業を行っています。今年も天候に恵まれ、3年生ははだしで田んぼに入り、

手作りマスク

5月、本校の特別支援学級の生徒が作成したマスクを、岩谷堂小の特別支援学級に届けました。そのほかにも、江刺愛宕小、稲瀬小、伊手小にも寄贈しました。ミッキーシリーズの色鮮やかなマスクは、もらった人の心を豊かにしています。校内の先生方にもマスクを配り、温かい心の交流が見られます。



心を込めて作りました

いいとこ、知っとこ、おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



梁川地区

拠点 梁川地区センター
(江刺梁川字日ノ神90
☎ 37-2320)

梁川地区は、江刺の北部に位置し、北上市口内町、花巻市東和町に接しています。中心部北側に内陸と沿岸を結ぶ東北横断自動車道釜石秋田線の江刺田瀬インターチェンジと国道107号があります。また、一般県道(仮称)梁川バイパスの建設計画があり、令和8年の完成予定です。バイパス完成後は、奥州市の北の玄関口として利便性が高まります。

管理のほか、社会福祉部をはじめとした8つの部が中心となり、地域行事を開催しています。梁川振興会は昭和48年の発足で、その時から開催している地区民運動会は57回、地区一周駅伝競走大会は43回を数えています。近年は、地区文化祭と併せ地区郷土芸能発表会を毎年開催し、地区民に親しまれています。少子高齢化の進行や人口減少といった問題もある中、地区センター活動が地域住民の心よりどころとなれるよう取り組んでいます。

トンネルウォーキング

平成31年3月28日に開通した国道107号「梁川口内トンネル」。開通前にトンネルウォーキングを開催しました。



梁川地区郷土芸能発表会



中田太神楽



金津流野手崎獅子躍

梁川地区文化祭



羊毛フェルト手芸のワークショップ



展示部門

梁川地区民運動会



梁川地区一周駅伝競走大会



※「いいとこ、知っとこ、おうしゅう」は今月号で終了します